

せとうちBEACHアドベンチャー 報告書



一般社団法人 澁川マリンアクティビティ協会

せとうち BEACH アドベンチャー

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION 海と日本 PROJECT

2024



**募集
中!!**

募集チラシ A4 : 3,000部を印刷 玉野市内の4~6年生に配布

せとうち **BEACH** アドベンチャー 要項

1	名 称	せとうちBEACHアドベンチャー2024	
2	目 的	【子どもたちと海を、体験と学びで繋ぐ】 渋川海岸・王子が岳の恵まれた自然環境を活かし、地域の子どもたちに海の体験活動を行うことで、チームビルディングやコミュニケーションスキルを高めると共に青少年の健全育成を目指します。	
3	主 催	一般社団法人 渋川マリナクティビティ協会	ハレクティオ岡山
4	開 催 日	2024年10月26日（土）～10月27日（日） 【一泊二日のお泊り研修です】	
5	会 場	渋川海水浴場 渋川青年の家 王子が岳	渋川マリナ水族館
6	時 間	【1日目】 12:45 集合・オリエンテーション 13:00 何のため？（座学） 14:00 ビーチでチームビルディング① 15:00 ビーチでチームビルディング② 16:00 ビーチでチームビルディング③ 17:30 夕食・入浴 19:30 夢育プログラム（座学） 22:00 就寝	【2日目】 06:00 起床 洗面 清掃 07:00 朝食 08:30 山の環境の学び（王子が岳登山） 11:00 海の環境の学び（マリナ水族館） 12:00 昼食 13:00 ふりかえり（座学） 14:00 解散 <small>（※）プログラムは変更の可能性があります</small>
7	持 っ て くるもの	・飲み物（2日分） ・タオル（汗拭き用、お風呂用） ・歯ブラシ ・運動できるシューズ ・替ええ（2日分） ・寝間着 ・筆記用具 ・その他、宿泊で必要とされるもの	
8	参 加 費	・研修費：無料 ・宿泊費、飲食代：4,000円（※夕食、朝食、昼食の代金、宿泊費を含む）	
9	募 集 定 員	36名程度（対象：小学4～6年生） <small>※ 安全の為、対象の学年以外は参加できません。</small>	
10	連 絡 先	ハレクティオ岡山 原田 政輝：080-1943-7461 荒井 祥太郎：090-7509-4836	
	注 意 事 項	・台風等の荒天の場合は中止となる場合がございます。 （※ 中止が予想される場合、前日18時までに中止の連絡をします。） ・合宿中のケガに関して、応急処置は行いますが、その後の責任は負いかねます。 ・参加者は各々、スポーツ安全保険等に加入してください。 ・体調管理には十分お気をつけください。体調を崩された方は、インストラクターまでお申し出ください。 ・合宿中の肖像権は主催者にあるものとします。 ※撮影した映像・写真が、新聞・SNS等で公開されることがあります。 ・駐車場は有料です。（1時間100円：一日最大1,000円）	

エントリーはこちら



せとうちの自然の中で
海の思い出をつくろう！

座学プログラム

マインドセット・チームのテーマ設定

1日目 13:00～14:50

【担当インストラクター】

安原・古元・江口

【受講者】 4年生 8名 (男子5名・女子3名) 6年生 3名 (男子3名)

研修の流れ (狙い)

- ①他己紹介により円滑な関係性を築く
 - ②自分の理想像をイメージさせる
 - ③理想大人になる為に必要な能力を把握する
 - ④自己成長を目的に、チームのテーマを設定
- 研修参加の目的の明確化：マインドセット

結果 (見取り)

- ①相手のことをよく聞いてメモしていた
 - ②抽象的だが、意識を向けることができた
 - ③理想の自分と今の自分を比較する機会に
 - ④どこも「仲良く」「楽しく」に偏った
- おおよそ予測の範疇で着地ができた

改善策

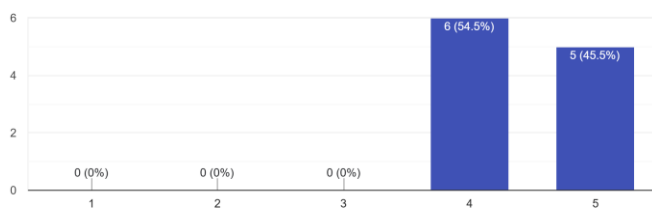
- ①メモは取ってよいが発表はメモ無しで
 - ②カッコいい大人の実例を挙げてもらう
 - ③非認知能力のチャートを使用した方が良い
 - ④あと10分時間があれば実施可能
- 座学研修ができるスタッフを増やしたい

研修の課題

- ①相手を紹介したがメモを棒読み状態に
 - ②イメージをもっと明確にさせてあげたい
 - ③必要な非認知能力を明文化した方が良い
 - ④時間があればチーム名も決めさせれば良い
- どれだけ理想のイメージを明確にできるか

座学のプログラムは、学びになりましたか？

11件の回答



担当：安原よりコメント

予想以上の高い評価を得ることができましたが、今後の指導経験を増やすことで、子どもたちの気づきのレベルをもっとアップできると感じています。



チームビルディング①

海洋ゴミの問題を知り、スポゴミでチームビルディング

1日目 14:00～14:50

【担当インストラクター】

川淵氏・安原

【受講者】 4年生 8名 (男子5名・女子3名) 6年生 3名 (男子3名)

研修の流れ (狙い)

- ①海ゴミの話で海洋教育
 - ②スポゴミ前半
 - ③中間発表 → 作戦タイム
 - ④スポゴミ後半 → 表彰
- 作戦タイムにチーム担当を入れて質を高める

結果 (見取り)

- ①専門有識者の話をしっかりと聞いていた
 - ②ゴミが会場に少なく全員が迷走気味
 - ③拾ったゴミを検証・拾うべきゴミを指示
 - ④タイムアップ後もゴミを拾うチームも
- 多角的な見取りができるように意識する

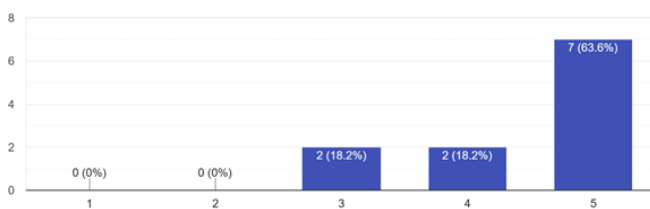
改善策

- ①テロップを準備した方が良い
 - ②予め清掃範囲を記したコーンを設置する
 - ③ポイント表やルールを印刷しておく
 - ④ルール厳守と勝への熱意を両方見取る
- 意図を持った準備で子どもたちの成長を促す

研修の課題

- ①ゴミ問題の写真が見えない子もいた
 - ②清掃範囲が分かりにくい
 - ③何のゴミが何ポイントなのか明確でない
 - ④意識が低い子を称賛するミスリードがあった
- 何が評価される基準なのかを伝えておく

チームビルディング①は、学びになりましたか？
11件の回答



担当：安原よりコメント

海ゴミの専門有識者に来ていただき、世界の海ゴミの実情を子どもたちに伝えました。社会問題を意識して「来た時よりも美しく」が取り組める人財になってくれたら嬉しいです。



チームビルディング②

リーダーシップ・フォロワーシップを高めるワーク

1日目 15:00～15:50

【担当インストラクター】

安藤・座間味

【受講者】 4年生 8名 (男子5名・女子3名) 6年生 3名 (男子3名)

研修の流れ (狙い)

- ① 仲良くなる ポール繋ぎ
 - ② 声を出す 暗闇宝探し
 - ③ 人を動かす ドキドキブラインドサッカー
 - ④ 声かけで勝利に導く ブラインドサッカー
- 全体を通して、声の掛け方、伝え方を工夫してもらえようとする

結果 (見取り)

- ① コミュニケーションが取れる環境ができた
 - ② 支持者と非支持者の信頼関係が結べた
 - ③ 複数人に対して、指示が出せた
 - ④ 的確な指示が出せるようになり始めた
- 抽象的なコソアド言葉から、右左などの場所を伝えられる声が増えた

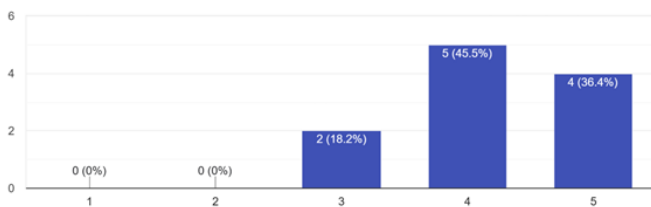
改善策

- ① ファシリテーターと共に工夫を促す
 - ② ポールの配置を変え、距離感を工夫する
 - ③ ポストの前に人を立たせ安全に配慮する
 - ④ 指示の統一ができるようにヒントを出す
- 具体的な指示をコーチングする。声掛けの種類を増やせるように内容を工夫する

研修の課題

- ① 作戦タイムで順番があまり変わらず変化が見づらかった。
 - ② ほふく前進による指示なしでの手探り
 - ③ 安全管理
 - ④ 複数人による指示で統一感が少なくなった
- 右に何歩などの具体的な指示の少なさ

チームビルディング②は、学びになりましたか？
11件の回答



担当：安藤よりコメント

指示の伝え方や、聞き方について、徐々に的確になっていくのが見てとれました。こちらの指示もさらにレベルアップしていかなければならないと感じました。



チームビルディング③

全員で協力しなければクリアできないワークで限界突破を

1日目 16:00～16:50

【担当インストラクター】

平野・宮崎

【受講者】 4年生 8名 (男子5名・女子3名) 6年生 3名 (男子3名)

研修の流れ (狙い)

- ① 困難な状況を作る
- ② 挫折を経験してもらう
- ③ 改善し乗り越えて成長
- ④ 問題解決能力の向上

→ アドバイス等は最小限にし子供達で話し合い、考えてもらい解決策を出してもらう

結果 (見取り)

- ① 困難、挫折を経験出来た
- ② 解決への話し合いが徐々に増えていた
- ③ チームワークが向上していた
- ④ 問題解決し達成の喜びを感じていた

→ ネガティブ思考からポジティブな声掛けが増え目標達成出来て成長していた

改善策

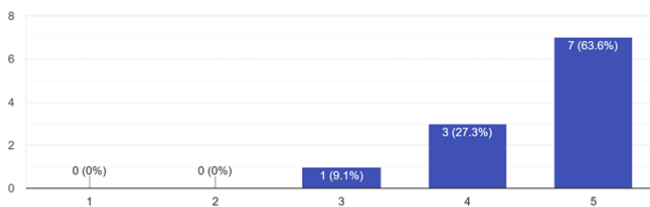
- ① 困難、挫折、達成の一連の流れを決める
- ② 指導経験が無い為、連携強化が必要
- ③ アドバイスやヒント等を決めておく
- ④ 事前準備をしっかりと煮詰めて行う

→ プログラムをどこまで行うかをはっきりさせ曖昧にせず進めれるように準備する

研修の課題

- ① 最初に考えていたプログラム内容では上手く困難、挫折、達成に持っていきれていなかった
- ② テーマが難しくサッカー以外で子供達に指導等やってきていなかった為自分達も伝えるのが難しすぎた
- ③ アドバイスあまりしたらいけないという設定の為声掛けがほとんどできなかった
- ④ 事前準備があまり出来ていなかった

チームビルディング③は、学びになりましたか？
11件の回答



担当：平野よりコメント

今回最初に考えていたメニューでは困難、挫折、達成をうまく経験してもらうことができず途中対戦方式にしてもらいこういうやり方があったのかと勉強になりました。



夢育プログラム

もしもゲームで、なりたい将来像をイメージする

1日目 19:30～20:30

【担当インストラクター】

安原・古元・江口

【受講者】 4年生 8名 (男子5名・女子3名) 6年生 3名 (男子3名)

研修の流れ (狙い)

- ①将来像に答えは無く自由であることを伝える
 - ②理想の自分像をイメージさせる
 - ③その上で「もしもゲーム」を実施
 - ④自身の将来を意識する機会をつくる
- 感情曲線の設計は良いので質を上げたい

結果 (見取り)

- ①以外に反社会的な回答はなかった
 - ②優しさや貢献に関するが多く回答された
 - ③あまり大きなスケールにはならなかった
 - ④自身の将来像を意識する回答が多くあった
- ハッキリと見取れるものが少なかった

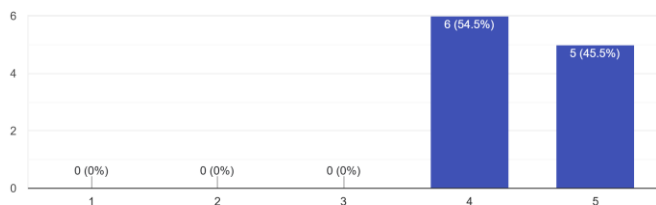
改善策

- ①BGMなどを用意して開放的な空間をつくる
 - ②子どもたちの様子を見て破天荒な例を挙げる
 - ③否定的な意見も含めて学びの場とする
 - ④回答に「どんな？」の質問で掘り下げる
- 経験を増やすことで見取りのレベルを上げる

研修の課題

- ①自由な発想がもう少し出てきてもよい
 - ②あたり前な回答が多く子どもなのに現実的
 - ③否定的な発言をする子どもの対応
 - ④理想について浅いものが多い
- ファシリテーションの質が問われる

座学のプログラムは、学びになりましたか？
11件の回答



担当：古元よりコメント

○○○○



山の学び：王子が岳

1日目 8:40～10:50

環境改善を意識し、山のゴミを拾いながら山頂を目指す

【担当インストラクター】

新濱・長濱

【受講者】4年生8名（男子5名・女子3名）6年生3名（男子3名）

研修の流れ（狙い）

- ①重点の説明
 - ②山登り開始、会話の観察
 - ③下山し、重点の振り返り
 - ④振り返りを全体で発表（まとめる）
- 周りの仲間への配慮

結果（見取り）

- ①山への関心が深まった
 - ②山頂での感動
 - ③仲間への気配り、配慮
 - ④振り返りでの意見の偏り
- 更にまとまりを持たせチームの意識

改善策

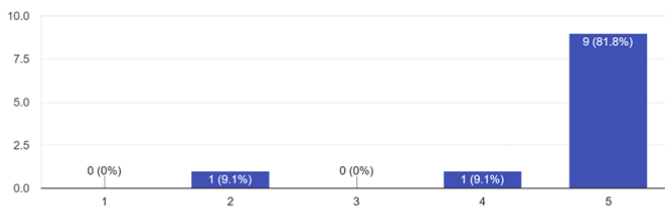
- ①事前に登る箇所のチェック
 - ②1人1人の距離が離れないように注意喚起
 - ③事前に山への関心、疑問を高める学習
 - ④王子が丘にいる生き物の説明を加える
- 自然の豊かさや、生き物の発見など環境を生かしたが次はできればいいと思った。

研修の課題

- ①余裕を持った時間配分
 - ②登山でのスピードの差
 - ③序盤で嫌と言う子が出てしまった
 - ④ゴミ拾い以外の山道での活動
- もっと興味をはじめから持ってもらえるような雰囲気を作る。

王子が岳ウォークは、学びになりましたか？

11件の回答



担当：新濱よりコメント

2日目の最初に始まった王子が丘ウォーキングでは、自分だけでなく周りに気を遣って助け合える姿みえた。この経験を活かして学校などでも、周りの様子をよく観察し手を差し伸べられる人になって欲しいとおもった。



海の学び：マリン水族館

1日目 11:00～11:50

海の生き物とのふれあい・チーム対抗クイズで役割分担と効率化

【担当インストラクター】

安原・古元・江口

【受講者】4年生8名（男子5名・女子3名）6年生3名（男子3名）

研修の流れ（狙い）

- ①自由に水族館を見学する
 - ②突然、チーム対抗のクイズ大会を発表
 - ③チームで作戦会議 → 実行
 - ④表彰と分析
- 感情曲線の設計が悪く自由時間を遮る印象

結果（見取り）

- ①それぞれ自由な行動で楽しそうな様子
 - ②そのチームも集合時間に間に合わず
 - ③シートを2枚用意したが作戦に反映されず
 - ④勝ち負けの感情の起伏が少ない子がいた
- 表彰の演出を強化して競争意識を上げる

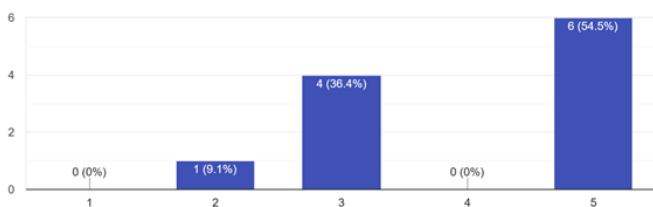
改善策

- ①もう少し長く自由時間を設定する
 - ②時間の設計ミスを改善する
 - ③チームの作戦タイムに担当を入れる
 - ④そもそもの時間を長く確保する
- 子どもたちが満たされる構成に組み替える

研修の課題

- ①自由な意識になる時間を確保できていない
 - ②クイズよりも友達と楽しめたかったのでは
 - ③誘導が答えに近いヒントになってしまった
 - ④時間が押しすぎてしまい分析が不十分
- 子どもたちの感情曲線をもっと研究すべき

マリン水族館クイズは、学びになりましたか？
11件の回答



担当よりコメント

○○○○



ふりかえり

自身の成長・相手の成長・チームの成長を見取る

1日目 13:00～13:50

【担当インストラクター】

安原・古元・江口

【受講者】 4年生 8名 (男子5名・女子3名) 6年生 3名 (男子3名)

研修の流れ (狙い)

- ①自分の成長の見取り
 - ②パートナーの成長の見取り
 - ③チームの成長の見取り
 - ④アンケート調査
- 上記3つの成長の見取りができる育成をする

結果 (見取り)

- ①ストレス度が高いものが効果が高い
 - ②恥ずかしさが見え隠れしていた
 - ③思う回答が得れず、少し難しいと感じた
 - ④全体的に高い評価を得ることができた
- 昼食後で眠たそうな子もいた

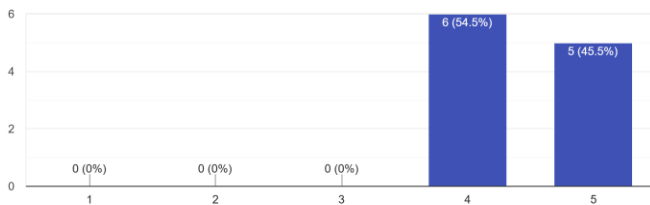
改善策

- ①最初のマインドセットの研究をする
 - ②最初からお互いの成長を見取ることを伝える
 - ③テーマ設定にもう少し時間をかけてよい
 - ④日本財団のアンケートが実態と沿っていない
- 内容は良いので子供向けのツールを作成する

研修の課題

- ①最初のマインドセットの質が問われる
 - ②最初からバディシステムを採用すべき
 - ③最初のテーマ設定の質がここに出る
 - ④海プロ指定のアンケートができなかった
- 子どもたちの集中力が持つよう工夫する

座学のプログラムは、学びになりましたか？
11件の回答

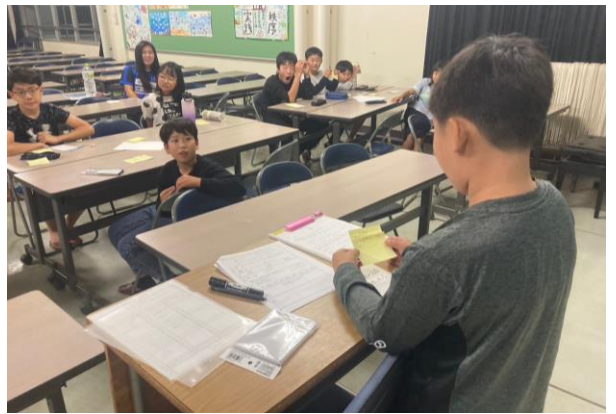


担当：江口よりコメント

○○○○



その他の写真（1日目）



その他の写真（2日目）



アンケート調査結果

この研修で一番良かったと思えたことは何ですか？

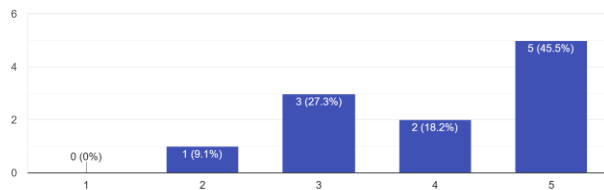
- ・自然を大切にしている人がたくさんいたこと。
- ・友達と協力してふれ合えたこと。
- ・海のゴミや人間の出したゴミは、その場所をきたなくする。
- ・みんなで協力できたことがよかった。
- ・友だちと協力してすごせた。
- ・ブラインドサッカーで、自分の力だけでなく仲間に指示をもらってシュートできたことです。
- ・チームビルディング③で諦めなければ、チャンスは必ずくること
- ・王子が岳で体力をつけたことです。
- ・ビーチサッカーの目隠しでテニスボールを拾うのがよかった。
- ・サッカー
- ・王子が岳で登り切ったことがよかった。

この研修で改善した方がよいことはありますか？

- ・ない
- ・ありません。
- ・ない。
- ・とまるコーチをふやしたほうがいい。
- ・ろんばしない。話しをきく
- ・もっとはやくねたい。
- ・全部良かったから、特にありません。でも、夜中のバイクと車がうるさくて、目が覚めることが困りました。
- ・夜の学習の後、すぐ寝るほうがいい。
- ・早起きするのをやめてみる。(8時くらいにする)

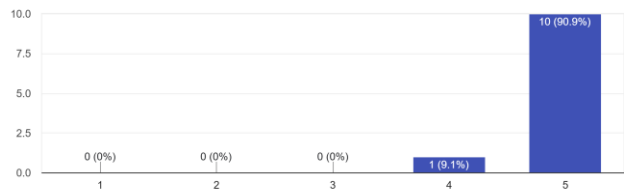
この研修で、海がもっと好きになりましたか？

11件の回答



この研修は、楽しい思い出になりましたか？

11件の回答



最後に一言、コメントを下さい。

- ・最初は行きたくないと思っていたけど、友達と協力できたし、ねれたので良い思い出になりました。
- ・サッカーのチームの話し合いでアイデアを出すことは得意だけれど、今回のチームビルディングで自分の話が仲間に伝わったかどうか？みんなが納得したかどうか？をもっと聞いて話を進めていきたいと思いました。コーチもいっぱい楽しかったし、新しい友達も出来たのでまた参加したいです。
- ・はじめて会った人と協力してチャレンジする気持ちができた。
- ・はっぴょうがにが手だったけどはっぴょうができるようになった。
- ・また、みんなで協力して、この学習をしたい。
- ・ありがとう
- ・また行きたい。
- ・ねむい
- ・たのしかった。
- ・いろいろなことができて楽しかった

- 4年生
- 5年生
- 6年生
- その他

